

活動ダイジェスト2017



10月

- 8.10日 粕川地区室沢棚田農業体験
- 13日 メニュー開発「ヒマワリの種パン」
- 14日 赤城山自然塾「赤城山検定試験」
- 20日 いこいの里ハイキング
- 21日 宮城地区苗ヶ島町さつまいも収穫
- 21日 FANクラブふれあい農園祭り
- 22日 前橋東部商工会祭り
- 29日 群馬暮らしフェア「前橋移住イベント」

11月

- 3日 富士見産業祭
- 4日 前橋・赤城スローシティフェア
- 5日 粕川地区産業祭
- 5日 宮城地区いいもん祭り
- 9日 富士見公民館「郷土料理教室」
- 11日 キングオブピザ
- 11.12日 芳賀ふるさと祭り
- 20日 天川地区「チャイシスターズ」
- 20日 メニュー開発「虹鱈のエスカベッシュ」
- 23日 木の実幼稚園バザー「ピザ作り」
- 23日 富士見地区時沢大根収穫
- 24日 富士見公民館「男そば打ち教室」
- 26日 粕川地区室沢棚田「収穫祭」
- 26日 Mサポ「つながる3分プロジェクト」

12月

- 2日 大胡公民館地域づくり講座
- 2日・16日 富士見公民館親子料理教室
- 2日 第3回前橋地域おこし交流会
- 3日 室沢収穫祭
- 4日 天川地区認知症予防クッキング
- 9日 宮城地区里山学校
- 15日 AKAGIFT取材「廃線トレッキング」
- 20日 メニュー開発「献上粟とサツマイモのようかん」
- 23日 宮城公民館地域づくり食育講座





伊藤 武
Takeshi Ito

埼玉県さいたま市出身。
フードコーディネーター。
調理人という技術と地域の
素材を活かして、食の力で
地域を元気に。



食で元気に

地元の農家さんなどから食材のご提供を頂き、特産品開発に取り掛かり始めました。赤城の恵ブランドにも認定された「森そだちサーモン」や「ハナビラタケ」を使ったパスタやピザに挑戦しています。また、開発したレシピを使い「地域づくり食育講座」や「親子料理教室」などで講師として協力させて頂き、皆で楽しくクッキングしています。レシピは前橋市公式キッチン「cookpad」より閲覧可能です。

いいもん開発

フードコーディネーターの経験を活かし、外食店の商品開発やレシピ提案など具体的な今後の仕事に結びつく活動を行っていきたくと思っています。

現在、宮城地区のご協力・依頼を受け、「いいもんスイーツ」の開発に取り組んでいます。みやぎの「サツマイモ」や「栗」を使い、お祭りや露店で人気の出るようなスイーツを試行錯誤中です。

やりたい事

地元の方々と地域の食材を広めていけるような活動がしたいと思っています。

新たに開業予定の「道の駅」に何かしらの形で関わっていきたくです。

メニュー提案や特産品開発などの業務もやってみたくです。



協力隊プロフィール
落合 宏美
Hiromi Ochiai

東京都新宿区出身。赤城山
を楽しみたい人への
情報発信がんばります！！



あっという間の半年

地域の行事・イベント・お祭りへの参加し、皆様との何気ない会話からたくさんの情報をいただき、地域を学ぶことができました。

ありがとうございます！！

また、粕川室沢棚田・時沢大根などのお手伝いから、野菜を育てる経験ができ、作物を育てる楽しさに目覚め(笑)、2018年は本格的に畑(田んぼ?)ができるよう準備していきたくと思っています。2020年には育てた野菜でのライダースカフェをオープンかな?? みなさん、いらしてくださいね。

そうだ！

赤城山へ行こう

春夏秋冬さまざまな楽しみ方のある赤城山、週末どこにいこうか? 赤城南麓でしょう~ 絶景ありお楽しみ情報アリマス。



地産地消



地遊地楽





協力隊プロフィール 埼玉県春日部市出身。農業や狩猟に関心を持ち、実践するために移住を決心した。駆け出しワナ猟師。

新藤 裕登
Hiroto Shindo

これまでの半年

11月15日から始まった初めての猟期に備え、ワナ猟の初心者講習会や猟友会への挨拶など、準備期間に費やされた最初の3ヶ月でした。

その後の3ヶ月はその成果を出す期間になりました。新しいことを始めるのは、いくつになっても興奮します。それが趣味の範疇なら猶更です。

有害鳥獣駆除

これからの半年

次の半年の目標は猟銃の免許取得と夏野菜の栽培です。ワナ猟で一定の成果が上がれば、獲った鹿や猪の革を使って何かしら作ってみたいという欲もあります。

耕作放棄地や有害鳥獣の被害をいきなり減らすことはできません。

私に出来るのはその成果を広くインターネットなどで公開し、それに興味を抱く人を一人でも増やすことです。



耕作放棄地対策

今後の挑戦

今まで行っていた活動に加え、今後は観光やスポーツで地域を元気にする活動を行っていきたくと思っています。

観光を通じて地域の価値を高め、スポーツを通して健康長寿や子供の運動離れの問題に向き合っていきたいです。

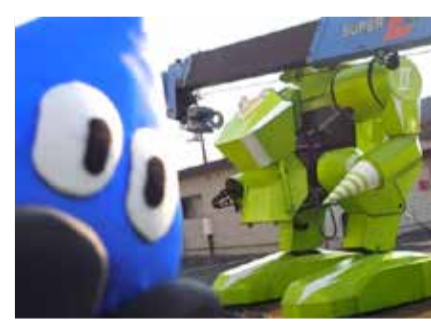


情報発信

現在の個人活動

独自のキャラクターを作り情報発信を行っています。また、前橋市 地域おこし協力隊のfacebookの他、ホームページの作成も行っています。

その他にも農家の方々を苦しめる有害鳥獣駆除活動や、粕川の室沢棚田の保存活動に参加させていただいています。



協力隊プロフィール 東京都世田谷区出身。職歴。IT、情報通信。新しいことにチャレンジしていきたくです！！

林 利和
Toshikazu Hayashi

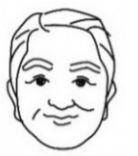


三年後

地域おこし協力隊での3年の活動を通じて、多目的な分野で活躍できる人材になりたいと思っています。その為にもいろいろなことにチャレンジしていきたくです。

協力隊プロフィール
曽根田 高輝
 そねだ たかてる

神奈川県大磯町出身。前職も地域おこし協力隊。羊を飼うことばかり注目されているが私的目には地域活性化。



協力隊として着任して以来、多くの方から「前橋（群馬）に移住してきてみてはどうですか？」という質問を受けてきました。実は、この質問、私にとってはすごく答えにくい質問なので、意識しているかどうかはわかりませんが、地域のダメなところを指摘してほしくてこういう質問をしてくる人はまれでしょう。

よく「よそ者の視点で地域の魅力を発掘」なんて美辞麗句が掲げられることがありますが、移住者は協力隊が初めてというわけではなく、進学や転勤などで他所の地域に行った後、前橋に戻ってきた人も多数いる、つまりよそ者の視点を持った人は過去から現在にかけて多数いるわけですから、それらの人たちが長年かけても発見できなかった魅力や、発見できなかった魅力を、少数が

短期間で発掘してどうにかするのは無茶というものです。それにそもそも、本来の趣旨からいえば、その地域に少なからず問題があり、その解決の助けとなるべく協力隊という制度があるわけですから、良いところだから移住してきているわけではないのです。

そんな状況下でも、質問されれば、何とか良いところをばく見えるものを探し出して答えようと忖度するのが日本人というものでしょう。しかしそこで良さそうに見えるものを答えてしまおうとどうなるか。

前職も地域おこし協力隊だった関係で見聞きした経験から言えば、その「良さ」そのもの「を」本当に「良いもの」にしていくために力を合わせて頑張ったゆえに、しましようにという意識で指摘している人もかかわらず、地域の人は「よその人から

見てもやっぱり良いところがあるんだ。ああよかった。これで安心だ」と、何もしなくたってしまふのがオチでした。そうやってしまふのもうひとつ地域活性化の阻害要因にしかならないんですよね。

ということ、移住者に良いこと探しを期待するのを、めまやめにすることから始めませんか？

では私は何のためにこの地に来たのか。既存のものを利用しての地域活性化に限界があるというのを認め、新たなアプローチを認め、新しい提案をしに来ているのです。



そしてその中で私が選んでいる観光客や留学生が急増している現状に鑑み、宗教対応食を用意しよう、その素材として他地域との差別化を図れる羊肉を使うという試みだったわけですね。羊を飼うというのはその目的のための手段です。

協力隊「しか」やらないことでは地域活性化はできません。新しいことを始める皆さんの意欲と勇気が地域を活性化させるのです。そのためにはわからぬこと、質問をお寄せください。必要なら勉強会を開催することも吝かではありませぬ。



前橋市公式キッチン
<https://cookpad.com/kitchen/14549351>



日本最大の料理サイト
COOKPAD
<http://cookpad.com>

前橋市地域おこし協力隊

〒371-0231 群馬県前橋市堀越町1115
 前橋市役所 大胡支所内

